

上田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会 会議概要

- 1 日 時 平成27年2月18日(水) 午後 1時30分から3時30分まで
- 2 会 場 サントミュージゼ 大スタジオ
- 3 出席者 別紙『上田地域定住自立圏 共生ビジョン懇談会 委員名簿』のとおり
(欠席委員:小岩井彰 様、小山英明 様、斎藤重一郎 様、成澤英夫 様、
橋詰元良 様、満木大 様)
- 4 オブザーバー 上小地方事務所地域政策課
- 5 行政関係出席者 別紙名簿のとおり
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 0人 / 取材記者等 2社
- 8 会議概要作成年月日 平成27年 2月23日

協 議 事 項 等

- 1 開会
(司会:上田市政策企画課長)
- 2 委嘱状交付
机の上にあらかじめ配布してある委嘱状の確認をもって委嘱状の交付とさせていただいた。
- 3 あいさつ
井上 副市長からご挨拶申し上げた。
- 4 委員自己紹介
50音順名簿の順で、出席委員から自己紹介を行った。また、オブザーバー、事務局である各市町村の幹事からも自己紹介いただいた。
- 5 会長・副会長選出
規約では互選により選出するとなっているが、丸山委員から事務局提案の提示を求める発議をいただき、
会長に宮本智夫 様、副会長に高藤武文 様
という案を事務局から提案し、委員の皆様からご了解いただき選出された。

(宮本会長)
このところ、人口減少社会ということが話題となりますが、魅力あるまちづくり(自治会活動の維持)のためには、市民、企業、行政がいろいろな場面で助け合い、連携して盛り上げていくことが必要ではないかと感じている。上田地域定住自立圏においても、市町村の垣根を越えた、活発な連携・協力が進むよう、それぞれのお立場から、ご意見をいただきたい。
(高藤副会長)
副会長として、会長の円滑な議事進行を補佐していきたい。
- 6 議事 (進行:宮本会長)
(1)上田地域定住自立圏について
(2)平成26年度の取組状況について

(事務局 上田市政策企画課)
資料2、資料3に沿って説明。

(委 員)
取組の9 - にある松くい虫被害への防除対策の検討会について、どのような取組を行ってきたか、また、どのような成果があったかについて、説明いただきたい。

(上田市森林整備課長)

上田市では空中散布を中断しており、これに代わる有効な対策として、何が効果あるか、対策になるかについて、長野県上小地方事務所と信州上小森林組合、上田市を含む関係市町村とプロジェクトを立ち上げ研究してきた。上田市の市有林を試験地として、樹幹注入剤や木酢の散布など、テストしてきた中で、樹幹注入剤が一番効果があるという研究がでている。

その樹幹注入剤を製造するメーカーもより効果ある薬剤を研究していることから、引き続き関係機関と連携し、効果ある防除対策の研究をすすめたい。

(委員)

産業振興の取組の中で、企業ガイドブックの作成・配布を予定しているが、立科町にも特色のある企業があるので、加えさせていただきたい。

(上田市商工課長)

ガイドブックについては、上田地域職業安定協会と関連市町村とで作成を進めているが、立科町の企業についても広げて、掲載していくことについて、検討を図っていきたい。

(3)今後の取組み及び共生ビジョン(変更案)について

(事務局 上田市政策企画課)

資料4、資料5に沿って説明。

(委員)

特産品等の地域ブランドの発信について、青木村でもタチアカネという品種について作付け拡大し、PRしようとしている。今後の取組みとしてそば等に関するパンフレットの作成ということ掲げているが、昨年は「日本そばサミット in 上田」を開催した流れを継続させ、イベント等により圏域のそばのPRを進めていく考えはないか。

(上田市農政課 担当係長)

「日本そばサミット in 上田」は大変盛り上がり効果があったため、パンフレットの作成に加え、お蕎麦屋さんのグループが中心となって、来年度もこれに代わるようなイベントの開催を計画していくことになっている。

(委員)

有害鳥獣駆除対策に関して、捕獲した鳥獣のほとんどが土に埋められ、その数もかなり多い。できれば、この地域の捕獲鳥獣について、認証制度に沿った処理が行われ、ジビエ肉が流通するような取組を進めていただきたい。

(上田市森林整備課長)

ジビエ肉を流通させていく場合に、いつ捕獲できるかわからない鳥獣を、安定的に確保するかという前段に問題があり、血抜きなどの1次処理の方法について、県地方事務所が中心となり勉強もしてきている。我々を含め猟友会や調理する人たちの中で、技術・ノウハウの蓄積が不十分と思われることから、すぐにジビエ肉の流通体制の確立ということは難しいが、実現に向けて、まずは先進地の視察あるいは猟友会や加工・調理しジビエ肉料理の提供を考えている人との連携を深めるなどの調査研究を進めてまいりたい。

(委員)

ここ数年、圏域各地の山や田園に設置された太陽光発電の設置が目につき、観光地として景観上望ましくないと思うこともあり、また、雨水が下流に一気に流れ出るといことも懸念されるが、対応として考えていることがあれば聞きたい。

(事務局 - 上田市政策企画局長)

上田市でも森林を伐採して大規模な太陽光パネルを設置したいという事業計画があるが、地元の皆様からは災害等の恐れがあることから進めてもらいたくないとの要望があり、事業を止めていただいている。しかし、一定の基準を設けて規制していく条例等が整備されていないことから、今後はこのようなことを課題と捉え、対応策について各市町村の担当者と連携し、調査研究を進めていくことを中心市の担当課に提案してまいりたい。

(委員)

人口減少、少子高齢化が進む中で、国の地方創生の方向性にも示されているように、いかに常用雇用をこの地域に創出して行くことを強く進めていく必要がある。佐久市も事業所等の市内移転を支援する施策を強化していくという報道もあったが、この圏域の発展のために、市の職員が積極的に東京、名古屋の企業に出て、企業誘致を進めていく施策を進めたらどうか。

(上田市商工課長)

国の地方創生の取組の対応として、上田市に関していえば、企業誘致をするための広い用地の確保は難しい状況になってきているため、創業に向けた相談・支援や、子育て中の女性の就労支援活動への助成など、雇用創出に向けた各種支援施策を予算化していくよう調整を進めている。

(事務局 - 上田市政策企画局長)

国の地方創生では地方に雇用を創出し、大都市から地方への人の移動を重視している。企業立地を進める手段として空き用地、空き店舗のデータベース化を図るとともに、これまでの企業誘致の成功事例として、圏域にある地元企業を糸口に、その取引関係にある県外企業をターゲットにすることが有効であることから、上田市が中心となって圏域の皆様と地元事業に関する情報共有をすすめ、企業立地を促進してまいりたい。

(委員)

産業構造として製造業の割合が減ってきていることから、工場等の誘致だけでなく、サービス業、また、大手企業の支社、支店を誘致していくことの視点において進めていくことが重要であると考えている。

(事務局 - 上田市政策企画局長)

ご指摘のとおり、製造業だけでなく、これから伸びる第3次産業、サービス業、例えば、コールセンターなどは、この上田地域は非常に適していると思われるので、圏域の皆様と、時代にあった、また、地域の特性を生かすよう今後企業誘致を進めてまいりたい。

もう1つ付け加えると、企業活動を支える、企業が求める人材を、東京ではなく、この地域にある高校、大学等で育て、この地域に就職してもらおう循環を作っていくことを考えていきたい。

(委員)

先ほど、事務局から提案があった、地域の企業を支える人材を、この地域で育てていくことの重要性については、大変共感している。地域の大学、専門学校、高校と地元企業とのつながりを深め、東京に行かなくとも、この地域で学び、就職したいと思える連携をぜひ進めていただきたい。

(委員)

銀座 NAGANO の活用について、地域で野菜や加工品といった特産品の PR、販売促進を考えたときに、1階は狭いスペースに既に多くの商品がぎっしり並んでいる状況で、2階のイベントスペースを活用するしかないと思うが、現状では首都圏のバイヤーとの人脈もない中で、商談会を開くのも難しいと感じている。個々の市町村で動くのは困難かと思うので、中心市の役割として、銀座 NAGANO の活用について調整等の図っていただけないか。

(上田市農政課 担当係長)

ご指摘の銀座 NAGANO の活用について、定住自立圏の市町村、団体の皆様と検討して参りたい。

(事務局 - 上田市政策企画局長)

銀座 NAGANO には、市町村あるいは団体等がどうやって商談会・イベントを開催していくかの企画段階についても、困っていることに相談に乗っていただける県の担当者がいますので、中心市の役割として県の担当者と調整を図り相談しながら銀座 NAGANO の有効活用を進めていきたい。

7 その他

(委員)

特になし

(宮本会長)

概ね意見が出尽くしたと思われしますので、質疑は以上といたします。

出された意見につきましては、今後の取組や検討に活かしてもらうことをお願いし、会長としての議事進行を終えます。

8 閉会

(司会：上田市政策企画課長)

本日いただいた意見等は事務局で整理し、それぞれの取組事業で直ちに生かせるものは取り入れ、いただいた意見を参考に検討や調査研究を進めるなど、今後の取組に活かしてまいります。

9 サントミュージゼ 施設見学

終了 午後3時40分